【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2006-16396(P2006-16396A)
【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)
【年通号数】公開・登録公報2006-003
【出願番号】特願2005-194368(P2005-194368)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　6/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　6/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　6/027　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　6/087　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　6/08
Ａ６１Ｋ　6/02
Ａ６１Ｋ　6/027
Ａ６１Ｋ　6/087

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月26日(2006.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
知覚過敏（tooth sensitivity）の予防または軽減および／または、う蝕の発生率低下のための歯科用バーニッシュであって、以下を含む：
エステル化ロジンおよび
少なくとも１つのC_2～C_4脂肪族アルコールと少なくとも１つのC_5～C_7炭化水素を含む溶媒。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
現在の歯科用バーニッシュに使用される治療添加剤で最も一般的なものはフッ化物塩、特にフッ化ナトリウムである。最もよく知られるフッ化物を含む歯科用バーニッシュは、フィルム形成剤としてコロホニウム樹脂を、媒質／溶媒としてエチルアルコールを、そして主なもしくは唯一の治療剤としてフッ化ナトリウムを含むものである。コロホニウムは生きた木に由来する天然樹脂であるため、その特性は樹脂のロットごとにしばしば異なる。その違いには、そのような樹脂を用いて作られたバーニッシュの性能や見た目の美しさに関連した性質が多くの場合に含まれる。望ましいバーニッシュのコンシステンシーは塗膜を適切な膜厚に仕上げ、取扱いを容易にし、とりわけ配合物中のフッ化物塩と他の分散した構成成分が沈降するのを防ぐために重要である。これらバーニッシュの他の不都合な点には、溶媒の放出が遅いことに起因した遅い硬化と不快な味が含まれる。
【特許文献１】米国特許第２，６３０，３９７号
【特許文献２】米国特許第２，７８８，２８７号

【特許文献３】米国特許第３，０８１，２２７号
【特許文献４】米国特許第４，３９６，３７８号
【特許文献５】米国特許第３，０８７，９０４号
【特許文献６】米国特許第３，２６６，１４７号
【特許文献７】米国特許第３，４６９，３１７号
【特許文献８】米国特許第３，８６８，４４７号
【特許文献９】米国特許第４，２４０，８３２号
【特許文献１０】米国特許第４，３０８，０６２号
【特許文献１１】米国特許第５，２１３，６１５号
【特許文献１２】米国特許第５，３３０，７４６号
【特許文献１３】米国特許第５，５５８，７０１号